

同級生の皆さんへ

「2009年同窓会記念誌へ原稿のお願い」

早いものでもう五十歳になりましたね。論語では「天命を知る」歳だそうです。5年前の同窓会を思い出し、大勢の同級生が集まり、顔を会わせても何十年も会ってない人との時間的隔たりは一瞬にして圧縮される様なことはなく、何となく時間が過ぎてしまい、後であそこ立っていたのは何組の〇〇君だったのでは？と思うことはなかったでしょうか。そんな時間的な隔たりを柔らかく埋める手段は無いものかと考え、記念誌「同窓会エッセー集」を作ることになりました。エッセー集というと少し堅苦しい感じがしますが、自分らしさを表現するには絶好の手段です。会話することより少しだけ整理された形で、自分らしさが伝えられれば大成功です。これまで様々な局面で人生の岐路に立つことがあったと思います。いまさら高校時代の恩師にゴマをすっても過去の成績が変わるものではありません。自分ひとりで今までの人生を切り拓いてきた人は稀でしょう。岐路に立った時や悩んでいたときに背中を押してくれた人、相談にのってくれた人など貴重な出会いがあっただろうと思います。

今の自分があるのは誰のお陰だろうと思うことがあります。親の世話になったこと以外に二・三人の人との貴重な出会いが思い出されます。生活のスタイルや仕事の取り組み方など様々ですが、自分自身の根幹はそのままに枝葉をつけてくれた人物がいたような気がします。それが恩師であったりもするのですが・・・

このエッセー集は恩師の先生方と同級生有志の原稿と一緒に製本し記念誌として同窓会当日までに仕上げないといけません。下記要領にて締切日までに原稿をお寄せください。

皆さんの熱いメッセージに期待しています。

同窓会エッセー集 発起人 小嶋嘉豊

----- 募集要項 -----

本のタイトル：ヤリ高 28 期同窓会 エッセー集

題目：自由

原稿：原稿用紙 1～5 枚（2000 字以内）

書式：ワードなどのテキスト

写真の挿入も OK ですが、「白黒印刷」です。

締め切り：9 月末日（必着）

送り先：メール knassy@quartz.ocn.ne.jp

郵送 〒491-0057

一宮市今伊勢町宮後字郷東 15

小嶋嘉豊 宛（問合せは上記メールまたは 090-2139-0643）

ファックス 0586-45-4583（会社ですから、必ず小嶋嘉豊宛と書いてください）